

2024年4月21日(日)

中国新聞 SELECT 掲載



ジンバブエ
(2022～23年)
榊田滯史さん(25)
広島市安佐南区

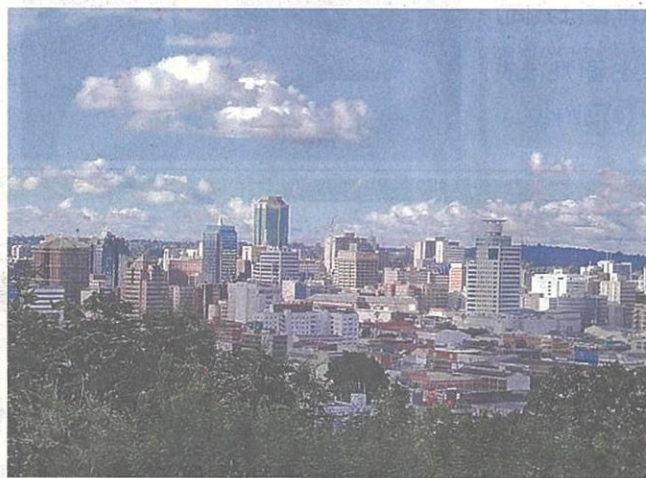
私は、2022年7月から23年7月までの1年間、JICA海外協力隊の柔道隊員としてジンバブエに派遣された。日本ではあまり知られていないジンバブエだが、そこで感じたことを少しだけ紹介したい。

ジンバブエと聞いて思い浮かべることがあるとすれば、おそらく極端に物価が上昇する「ハイパーインフレーション」ではないだろうか。これを経験している国だ。ほかにも「ビクトリア・フォールズ」という大

高層ビル立ち並ぶ首都

きな滝があるが、知る人は少ないだろう。日本の友人に私がアフリカに住んでいたことを話すと、決まって「水は毎日くみ

に行くの?」「猛獣が道路を歩いたり寝てべつていたりして、人間は危なくないの?」などと聞かれる。実際、ジンバブエでも場



高層ビルが立ち並ぶジンバブエの首都
ハラレ

所によってり気味になることがある。実際は蛇口をひねれば水は水環境や野生動物が近くにスーパで済ませることができるからだ。買ひ物の支払いは大体キヤッシュレス。街の中心部に行けば、ショッピングモールや高層ビルが立っている。実際は多くの日本人が考えているよりも、いろいろなものがあることに驚く。

た。獣におびえる生活はなかった。今でも、日本人にとつてはアフリカ大陸＝サバンナというイメージが残っている。日本人の持っているイメージを現地のジンバブエの人々に伝えると、少し怒ればならないだろう。